

新潮社の月刊総合雑誌『新潮45』が休刊するそうです。性的少数者への表現が差別的だという批判を受けての休刊だと報道されました。私は当雑誌をもう何年も購読していないし、渦中の特集についても読んでいないので休刊が妥当なのか判断ができません。しかし、新潮社が出した謝罪文の「部数低迷に直面し、試行錯誤の過程で編集上の無理が生じた。」という一文を読むと胸が痛くなるような思いがします。

私が初めて『新潮45』を手にしたのは高校生のときです。当時ある社会的な出来事について発表するため調べていた私に学年主任の先生が渡してくれたものです。そのころ紙面には、柳美里さんの社会批評やビートたけしさんのエッセーが連載されていて、それまで知らない世界に触れる驚きと、今ここにある世界が言葉になっていく面白さに夢中になりました。谷川俊太郎さんらのエッセーを通して「死ぬための生き方」を考えたり宮台信司さんや宮崎哲也さんらの評論を通して「近代の終焉」を思ったりしました。

そうやって毎号買い続けていましたが26歳ぐらいのとき書店で手に取るのを止めました。というのは特集記事についてなんだかネットの掲示板の書き込みのような内容が多くなったからです。センセーショナルな、露悪的なタイトルばかりが目立ちました。ちょうどその頃、『論座』『朝日』といった他社の「総合雑誌」が一斉に廃刊しました。出版不況という言葉とともに「本が売れない」という現実が書店の棚を覆ったのです。

日本は資本主義の社会だから売れないモノには価値がない。だからといって、「試行錯誤の過程で編集上の無理が生じ」他者を傷つけてまで商品価値を見い出さなくてはならない私たちの社会が果たして「文化的」といえるのだろうか。出版文化が失われていく中で、高校生たちはどうやって知らない世界に触れる驚きを知り、自分の言葉を作っていくのだろうか。今回の『新潮45』の休刊は性的少数者への理解という点で重大でしょう。それと同時に文化の担い手であった雑誌をこれ以上絶やさないためにも新潮社の謝罪を繰り返してはならないと感じました。

図書研修課長 佐伯直紀

☆☆☆10月の行事予定☆☆☆

月	日	行事	月	日	行事
	15			15	
2	火	2学期中間発表	16	火	
3	水	地域を担う心豊かな高校生育成事業 (1年 5, 6限)	17	水	グローバル語り部講演会(6限)
			18	木	漢字テスト⑦
4	木		19	金	人権の日交通安全宣言行事(6限)
5	金	進路希望調査(1, 2年) ワックス掛け・大掃除(45分特時) 全統マーク模試(3年)	20	土	全経電卓計算能力検定③
			21	日	
			22	月	
6	土	↓	23	火	
7	日		24	水	人権・同教コンサート準備
8	月	体育の日	25	木	人権・同教コンサート(1~3年 体育館) 運転免許説明会(第1回)
9	火	2学期中間考査 校納金口座振替			
10	水	教育課程委員会	26	金	
11	木		27	土	
12	金	身だしなみ指導 進研記述模試(3年)	28	日	
			29	月	
13	土	↓	30	火	漢字テスト⑧
14	日		31	水	

